

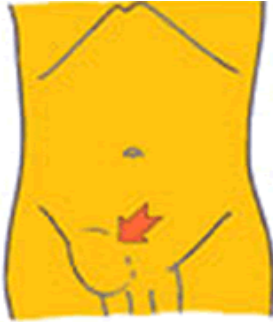


病診連携通信

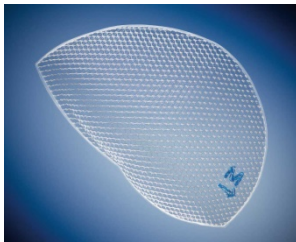
第 24 号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
平成30年6月

鼠径(そけい)ヘルニア診療のご案内



(図1)修復用メッシュ



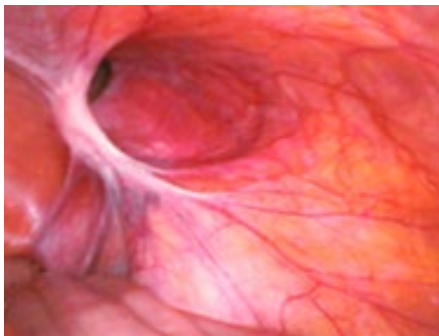
鼠径ヘルニアは、お腹の中にある腸の一部が腹膜と一緒に鼠径部の筋肉の隙間からはみ出す病気です。手術で修復することが根治治療であり、国内の手術件数は年間16万件(2010年)とされています。ヘルニア門を縫合して修復する従来の方法から、最近では人工素材のメッシュ(図1)を留置するメッシュ法が主流となり、術後の痛みが軽減し、再発率も低下するようになりました。

近年では、このメッシュ法を腹腔鏡下で行うことによって

- ①すべてのヘルニアに対して両側ともに観察できる
- ②手術の範囲、メッシュを留置する位置を確認できる
- ③創部痛を含めた術後の痛みを軽減できる

などの利点があり、選択する症例が増えてきています。

腹腔鏡下手術による鼠径ヘルニア修復の術中写真



当科においても、症例を選んで腹腔鏡下のメッシュ法を行っております。鼠径ヘルニアの患者様がいらっしゃいましたら、当科に是非ご相談ください。 (外科:仲野)

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。